

【情報・地域】

授業科目名	単位数	必修選択の別	開講時期	授業形態	担当者名
ITパスポート演習Ⅰ (I218)	1	選択	1年 後期	演習	齋藤 紀江
【キーワード】 ITパスポート、国家資格、情報通信技術、企業活動、論理的思考解決力、ストラテジ、マネジメント					
【授業内容・授業の目的】 国家資格であるITパスポートのストラテジ、マネジメント分野の用語の意味と基本知識を教科書、インターネットを利用し学習し学習内容の理解を深めます。					
【授業の到達目標（学習成果）】 職業人として国が示す基準の情報技術およびマネジメント、テクノロジーに関する基本用語と仕組みの概略を理解できること。 機能と知識・理解：学習した内容を理解し、グループ討論内容・課題を理解し答えを導き出すことができる。 技能・表現：ITパスポート試験に出題される基本用語を正確に理解して問題解決のための表現ができる。 関心・意欲・態度：学習した内容を理解して国家資格受験のための学習意欲を持つ。					
授業計画			準備学習等		
1週	ストラテジ系 企業活動		企業活動の章を読む(0.5時間)		
2週	法務		法務を読む(0.5時間)		
3週	第1章章末問題		章末問題を解いて不明点を明記(2時間)		
4週	経営マネジメント		経営マネジメントを読む(0.5時間)		
5週	技術戦略マネジメント		技術戦略マネジメントを読む(0.5時間)		
6週	ビジネスインダストリ		身近なビジネスインダストリを理解(1時間)		
7週	第2章章末問題		章末問題を解いて不明点を明記(2時間)		
8週	システム戦略		システム戦略を読む(0.5時間)		
9週	システム企画		システム企画を読む(0.5時間)		
10週	第3章章末問題		章末問題を解いて不明点を明記(2時間)		
11週	CBT 問題説明と試験方法実践		指定ソフトの操作説明を読み理解しておく(1.5時間)		
12週	マネジメント系 開発技術		開発技術を読む(0.5時間)		
13週	プロジェクトマネジメント		プロジェクトマネジメントを読む(0.5時間)		
14週	サービスマネジメント		サービスマネジメントを読む(0.5時間)		
15週	第4章章末問題と総合練習問題		章末問題を解いて不明点を明記(2時間)		
【成績評価の方法・基準】 提出物 60%、授業態度 40% 知識・理解：学習したITパスポート出題用語を理解できる。 技能・表現：学習した用語を理解して、グループ討論および課題物作成提出ができる。 関心・意欲・態度：国家試験合格にむけて学習する関心と意欲がある。					
【課題（試験・レポート等）のフィードバックの方法】 メール返信および授業用専用WEBサイトに掲載。					
【テキスト】 ・よくわかるマスター『ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集』最新版 （情報基礎演習で使用される教科書）					
【参考書等】 ・ITパスポート試験のホームページ					
【学生へのメッセージ・履修上の留意点】 EXCEL、データベース、WEB、コンピュータグラフィック、図書館情報技術論、情報サービス演習の内容が試験範囲に含まれています。模擬問題を日頃から解き用語を覚えるとより理解できます。					

授業科目名	単位数	必修選択の別	開講時期	授業形態	担当者名
ITパスポート演習Ⅱ (I301)	1	選択	2年 後期	演習	齋藤 紀江
【キーワード】 ITパスポート、国家資格、企業活動、業務分析、情報セキュリティ、オフィスツール活用、テクノロジー、ストラテジ					
【授業内容・授業の目的】 国家資格ITパスポート試験のテクノロジー系の問題を学習し、さらに令和4年4月から試験改定された「高等学校の共通必修科目情報Ⅰに基づいた試験追加内容「プログラミング的思考力を問う擬似言語を用いた出題、情報デザイン、データ利用者のための技術」の項目を追加学習します。					
【授業の到達目標（学習成果）】 ITパスポートに出題される用語、企業活動、業務分析の図式化、知的財産を正確に理解し、表現できる。 知識・理解：学習した内容をもとに、グループ討論の課題を理解し答えを導き出すことができる。 表現・技能：業務にどのように使われているか判断でき回答を導くことができる。 関心・意欲・態度：職業人としてそなえておくべき基礎知識を上位者の指導のもとと支援を行える意欲を持つ。					
授業計画			準備学習等		
1週	基礎理論 1		基礎理論を読み不明点を明記(1時間)		
2週	基礎理論 2 アルゴリズム 1		アルゴリズムを読み不明点を明記(1時間)		
3週	アルゴリズム 2・プログラミング 1		2週のアルゴリズムを実際を書く(0.5時間)		
4週	プログラミング 2・WEBマークアップ言語		プログラミングを読み不明点を明記(0.5時間)		
5週	第7章復習		第7章章末問題を解き理解(2時間)		
6週	コンピュータ構成要素・システム構成		第8章全体を読み不明点を明記(0.5時間)		
7週	ソフトウェア・ハードウェア		データベースを読み不明点を明記(0.5時間)		
8週	ヒューマンインターフェイス		ヒューマンインターフェイス例を調べておく(1時間)		
9週	マルチメディア		静止画、動画の形式を調べておく(0.5時間)		
10週	データベース		データベースを理解しておく(1時間)		
10週	ネットワーク・セキュリティ		ネットワーク・セキュリティを読み不明点を明記(0.5時間)		
11週	表計算		EXCELを復習しておく(0.5時間)		
12週	確認問題演習		過去問題を解き苦手な問題を書き出しておく(1.5時間)		
13週	追加内容：擬似言語を用いた出題対策		IPAサイトにて該当箇所を確認しておく(1時間)		
14週	追加内容：情報デザイン		IPAサイトにて該当箇所を確認しておく(1時間)		
15週	追加内容：データ利活用のための技術		IPAサイトにて該当箇所を確認しておく(2時間)		
【成績評価の方法・基準】 提出物 40%、定期試験（定期試験用問題提出）40%、授業態度 20% 知識・理解：ITパスポート出題問題を理解できる。 表現・技能：学習した内容を理解し正確に短時間に解答を導き出すことができる。 関心・意欲・態度：職業人として必要な情報用語が社会にてどのように使用されているか積極的に関心を持つ。					
課題（試験・レポート等）のフィードバックの方法】 メール返信および解答を授業用WEBサイトに掲載。					
【テキスト】 ・よくわかるマスター『ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集』					
【参考書等】 ・ITパスポート資格ホームページ。					
【学生へのメッセージ・履修上の留意点】 ・ITパスポート演習Ⅰでを使用した教科書となります。					

授業科目名	単位数	必修選択の別	開講時期	授業形態	担当者名
データベース演習 (I119)	1	選択	1年 前期	演習	齋藤 紀江
【キーワード】 データベース、Access、Excel、並び替え、更新、フォーム、レポート、リレーショナル、業務効率化					
【授業内容・授業の目的】 現在、行政、販売、医療など多くがデータベース化されています。実際に課題を制作しながらデータベースの知識を習得し、データベースの基礎を学習します。ExcelとAccessを使用します。					
【授業の到達目標（学習成果）】 行政管理、販売管理、医療管理、予約システムなど多くの場で使用されるデータベースにとまどう事なく操作でき、各ファイルの関係のつけかた、Excelとの違い、番号やキーの重要性を知り、簡単なデータベース制作を完成する事を目標とします。 知識・理解：データベース機能の専門知識を習得し実務データベースの構造を理解できる。 技能・表現：実務データベース設計ができ、正規化・設計・画面入力・出力技能を習得する。 思考・判断：習得した技能を活かし入力画面、完成出力媒体を考えながらDBとRDBの違いを判断できる。					
授業計画			準備学習等		
1週	インターネットのデータベース		Google、Amazonにて条件設定による表示を試してみる(0.5時間)		
2週	第1章RDBサンプルとソフト操作		教科書1章を読んでおく(1時間)		
3週	第2章DB、第3章テーブル		教科書第2章を読んでおく(1時間)		
4週	第3章主キーとデータ入力		ITパスポートデータベースを読んでおく(0.5時間)		
5週	第4章クエリ(1)基本機能		教科書第4章を読んでおく(1時間)		
6週	第4章クエリ(2)複数条件		Excelの数式、関数の不明点を明確にしておく(1時間)		
7週	第4章クエリ(3)関数と複数条件		6週までの不明点を明確にしておく(1.5時間)		
8週	第4章クエリ(3)条件に応じた表示と更新		教科書第4章4-8～4-11を読み不明点を明確にしておく(1時間)		
9週	テーブルクエリの復習と課題提出		8週までの不明点を明確にしておく(1.5時間)		
10週	データベースとリレーショナルデータベース		Excelデータベースとは何か復習しておく(1時間)		
11週	第5章リレーショナルデータベース		10章までのテーブル、クエリを完成させておく(1時間)		
12週	第6章フォーム(画面)単一テーブル		第6章を読んでおく(1時間)		
13週	第6章フォーム(画面)複数テーブル		第6章不明点を明確にしておく(1時間)		
14週	第7章レポート(印刷)テーブルより作成		第7章を読んでおく(1時間)		
15週	第7章レポート(印刷)クエリより作成		課題制作時の不明点を明確にしておく(1時間)		
【成績評価の方法・基準】 提出物60%、授業態度40% 知識・理解：データベースの仕組み、フィールドとキー、RDBと表計算の違いが理解できる。 技能・表現：学習した知識を操作でき、応用して課題RDBを設計しデータベースソフトを作成できる。 思考・判断：社会で使用されているデータベースに気づき、Accessに置き換えて考え課題制作できる。					
【課題（試験・レポート等）のフィードバックの方法】 メール返信および授業専用WEBサイトに掲載。					
【テキスト】 ・『Accessのデータベースのツボとコツがゼッタイにわかる本』2019/2016 対応秀和システム ISBN 9784798057255					
【参考書等】 ・よくわかるマスター『ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集』（情報基礎演習参考書と共通）					
【学生へのメッセージ・履修上の留意点】 Excelよりも操作方法は簡単ですが授業内容を理解しないまま進めると使いこなせません。Excelのデータベース関数を復習しながら学習を進めてください。					

授業科目名	単位数	必修選択の別	開講時期	授業形態	担当者名
コンピュータグラフィック (I219)	1	選択	1年 後期	演習	齋藤 紀江
【キーワード】 CG、Photoshop、ピクセル、マルチメディア、レンダリング、画像処理					
【授業内容・授業の目的】 デジタルの色の基礎知識、ガイド、レイヤー、フィルター等の専門用語と知識を習得し、実際に画像編集しながら正確な技能を習得していきます。Photoshopエレメンツを使用して学習します。					
【授業の到達目標（学習成果）】 画像の仕組みと特性を知り、画素数、形式等の基礎知識から取り込み方法や内部処理を理解し操作できる事を目標にします。ワードやパワーポイント、エクセル、WEB資料用に交換できる知識と技能を習得します。 知識・理解：画像特性、ファイル形式、画像加工のための基本～応用知識を理解できる。 技能・表現：画像加工ソフトにてTPOに沿った画像編集出力する技能で画像制作できる。 判断・思考：習得した知識と技術を正確に判断し画像加工する手順を判断し実践できる。					
授業計画			準備学習等		
1週	コンピュータグラフィックスとは	CGとは何か調べておく(0.5時間)			
2週	画像のデータ形式の特性	クラウドの利用法と取り込み方を理解しておく(0.5時間)			
3週	選択範囲の作成と操作	選択ツールの部分を読んでおく(0.5時間)			
4週	レイヤーの基礎	レイヤーとは何か調べておく(0.5時間)			
5週	レイヤー操作	基本レイヤーの使い方を復習(1時間)			
6週	テキストシェイプレイヤー	チャプター6を読んでおく(0.5時間)			
7週	カラー設定	カラー設定方法を調べておく(0.5時間)			
8週	描画・レタッチツール	チャプター7を理解しておく(1時間)			
9週	クイックモードと画質調整	8週まで機能と操作手順を操作復習(2時間)			
10週	応用テクニック(レイヤー)	レイヤーを復習しておく(0.5時間)			
11週	応用テクニック(レイヤーマスク)	マスクを使ったレイヤーを復習しておく(2時間)			
12週	応用テクニック(フィルター)	11週までの内容を理解しておく(0.5時間)			
13週	課題1作成	フィルターとマスク、レイヤーを復習しておく(2時間)			
14週	課題2制作の操作方法	課題1をノートにまとめておく(1時間)			
15週	課題2制作	制作のための知識と用語をノートしておく(2時間)			
【成績評価の方法・基準】 提出物80%、授業態度20% 知識・理解：画像の特質、加工編集出力のための知識をもち、手順書を書くことができる。 技能・表現：学習した知識を手順書通り課題作品にて表現できる。 判断・思考：社会で使用されているポップやお知らせ資料などのCGがどのような技能にて表現されているか判断でき、実際に自身も制作する過程を考える事ができる。					
【課題(試験・レポート等)のフィードバックの方法】 メール返信および授業用専用WEBサイトに掲載。					
【テキスト】 ・『基礎からしっかり学べる Photoshop Elements 2023 最強の教科書』 Windows & MacOS 対応 ソーテック社 (ISBN 4-8007-1309-4)					
【参考書等】 ・Adobe ホームページ					
【学生へのメッセージ・履修上の留意点】 WEBデザイン1、WEBデザイン2の授業に必須の知識となります。またITパスポート試験にも用語が出題されます。ただソフトを扱えるのではなく知識をしっかりと覚えてください。					

授業科目名	単位数	必修選択の別	開講時期	授業形態	担当者名
Webデザイン検定対策Ⅰ (1220)	1	選択	1年 後期	演習	齋藤 紀江
【キーワード】 国家資格、ホームページ、HTML 5、CSS、画像形式、タグ					
【授業内容・授業の目的】 国家資格であるWebデザイン技能士資格合格準備として、Webの構造、HTML5とCSSの基本、実務で使用されているJavaScriptまでを課題制作しながら学習していきます。					
【授業の到達目標（学習成果）】 Webデザイン技能士の実技問題に出題される範囲のWebの制作方法の基本を理解し、公式なHTMLとCSSの記述とWEBの修正方法を簡単なWebを作りながら習得。 知識・理解：学習した内容を理解し、正確なWeb公開に関するタグ知識を習得。 技能・表現：Webデザイン技能士水準の技能および課題Webにて表現できる。 思考・判断：社会の各種公開されているWebがどのような仕組みであるか考え判断することができる。					
授業計画			準備学習等		
1週	HTML5の基礎と各種ツール	HTML5とは何か調べておく(0.5時間)			
2週	WEBページ基本構成	Chapter2まで読んでおく(0.5時間)			
3週	HTML5とは 規則と表記方法	基本HTMLを完成し表示方法を確認(1時間)			
4週	リンクと見出し	リンクと見出しのHTMLタグを明確にしておく(1時間)			
5週	テキストと画像	テキスト画像のHTMLタグを明確にしておく(1時間)			
6週	ディレクトリとフォルダ	サイトの構成を理解しておく(0.5時間)			
7週	画像形式と表示	USBに指定フォルダに6週までの課題完成(0.5時間)			
8週	CSSの基礎	CSS部分を読んでおく(0.5時間)			
9週	課題作成(1)	8週まで確認(3.5時間)			
10週	国家試験の出題方式と過去問題	指定フォルダを制作し素材をダウンロードしておく(0.5時間)			
11週	国家試験問題知識編例題	ITパスポートネットワークを読み不明点を明記(0.5時間)			
12週	実践編ナビゲーション	実践編を読み不明点を明記(0.5時間)			
13週	実践編CSS応用	8週目のCSSを復習し応用方法を考えておく(0.5時間)			
14週	JavaScript表記方法	JavaScriptとは何か調べておく(3時間)			
15週	アップロードとは	WWWの仕組みを復習しておく(1時間)			
【成績評価の方法・基準】 提出物80%、授業態度20% 知識・理解：WEBデザイン技能士のHTMLCSS部分の知識問題出題範囲の用語が理解できる。 技能・表現：学習した内容を正確に記述できWebを表示できる。 思考・判断：確実に正確な構造化タグ使用を判断できWebサイト構築方法を考えることができる。					
【課題（試験・レポート等）のフィードバックの方法】 メール返信および授業用専用WEBサイトに掲載。					
【テキスト】 ・『HTML5 & CSS3 しっかり入門教室』翔泳社 ・『よくわかるマスター特定非営利活動法人 インターネットスキル認定普及協会公認 改訂版 ウェブデザイン技能検定3級 過去問題集』FOM出版：ISBN 4938927691 ・『できるポケット Web制作必携 HTML&CSS 全事典』改訂版 HTML Living Standard & CSS3/4対応					
【参考書等】 ・よくわかるマスター『ITパスポート試験対策テキスト&過去問題集』（情報基礎演習参考書と共通）					
【学生へのメッセージ・履修上の留意点】 ・画像リサイズ形式変換知識と技術が必須となります。コンピュータグラフィックを履修してください。 ・アルファベット入力します。キーボードの位置を正確に把握しておいてください。					

授業科目名	単位数	必修選択の別	開講時期	授業形態	担当者名
Webデザイン検定対策Ⅱ (I313)	1	選択	2年 前期	演習	齋藤 紀江
【キーワード】 国家資格、ホームページ、HTML 5、CSS、画像形式、タグ、ネットワーク、通信規格					
【授業内容・授業の目的】 国家資格であるWebデザイン技能士資格合格水準のWeb用語、HTML5とCSSの使い方の知識を習得しながら、実務試験に対応した課題作品と自分のWeb作品を作成していきます。PC、スマホ、タブレットなどのマルチメディア対応のWebサイトの制作方法を学習していきます。					
【授業の到達目標（学習成果）】 Webデザイン技能士の筆記・実技に出題される範囲のWebの制作方法が理解でき、正式なWebデザイン知識と過去問題Webの構築方法を理解して課題作品を制作、公開する。 技能・表現：Webデザイン技能士水準の技能および課題Webにて表現できる。 思考・判断：試験の過去問題を正確に解答できる判断力をもち、ユニバーサルデザイン、レスポンシブルデザインを取り入れた課題Webに応用する思考力を持つ。					
授業計画			準備学習等		
1週	学科試験問題学習 (1) 用語理解		1回目学科問題を読む (1.5時間)		
2週	学科試験問題学習 (1) 用語理解		IT パスポート該当項目の理解 (1.5時間)		
3週	学科試験問題学習 (2) 基本用語		2回目学科問題を読む (1.5時間)		
4週	実技試験問題学習 (1) リンク		実施試験範囲を理解する (1時間)		
5週	実技試験問題学習 (2) フォルダ		試験問題のフォルダとファイルを操作しておく (0.5時間)		
6週	実技試験問題学習 (3) CSS		実施試験内容を理解する (0.5時間)		
7週	HTML 基本復習		Web デザイン I の制作物を確認しておく (0.5時間)		
8週	サイト更新知識		指定レイアウトとフォルダへの変更方法を考える (0.5時間)		
9週	課題サイト制作		実技試験に沿った正しい記述方法を復習しておく (2時間)		
10週	フォームの作成方法		学科試験のフォームに関する問題を確認しておく (0.5時間)		
11週	学科試験問題学習 (3) まとめ		指定学科試験問題を解いておく (0.5時間)		
12週	実技試験問題学習 (4) まとめ		指定実技試験問題を解いておく (0.5時間)		
13週	レスポンシブルサイトとは		教科書該当部分を読んでおく (1時間)		
14週	CSS の応用例		CSS を復習しておく (1時間)		
15週	課題サイト制作		課題サイトの構成図を明記できるようにしておく (2時間)		
【成績評価の方法・基準】 提出物 80%、授業態度 20% 知識・理解：WEB デザイン技能士 3 級の学科試験問題水準を理解できる。 技能・表現：WEB デザイン技能士 3 級の实技試験問題水準の Web を制作できる。 思考・判断：インターネット、著作権、セキュリティ、ユーザビリティを確実に判断して制作できる。					
【課題（試験・レポート等）のフィードバックの方法】 メール返信および授業用専用WEBサイトに掲載。					
【テキスト】・『HTML5 & CSS3 しっかり入門教室』翔泳社 ・『よくわかるマスター 特定非営利活動法人 インターネットスキル認定普及協会公認 改訂版 ウェブデザイン技能検定 3 級 過去問題集』FOM 出版：ISBN 4938927691 ・『できるポケット Web 制作必携 HTML&CSS 全事典』改訂版 HTML Living Standard & CSS3/4 対応					
【参考書等】・Web デザイン技能検定ホームページ (http://www.webdesign.gr.jp/index.php)					
【学生へのメッセージ・履修上の留意点】・WEB デザイン演習 1 を履修した学生は、過去問題集が今年度改訂版に変更となりますが、昨年度の過去問題集をそのままお持ちください。・WEB デザイン検定試験にはコンピュータグラフィックの知識および画像加工技術が必要となります。					

授業科目名	単位数	必修選択の別	開講時期	授業形態	担当者名
地球環境論 (I108)	2	選択	1年 前期	講義	森本 健一
【キーワード】持続可能な開発目標 (SDGs)、コロナパンデミックと人類の行方、異常気象被害の頻発、ESG投資、グリーン・リカバリー、メガトレンド、サステナビリティ、2030年分岐点問題					
【授業内容・授業の目的】現在、新型コロナの世界的流行で、様々な被害がこの一年間、地球の人類の将来を不安に陥れているが、これに加えて従来からの地球温暖化、化学物質(プラスチック)の海洋拡散、森林破壊、砂漠化、野生生物種の減少など、いわゆる地球環境問題が、異常気象の頻発をはじめ人口問題・貧困問題・紛争難民問題、生物濃縮汚染など多くの問題と錯綜して、年々深刻化してきている。2030年までの10年間で人類生存の分岐点と予想されており、特に今後の地球人口の爆発時代に生きるうえで、持続性の観点から、開発と保護の問題を考えるSDGsの取り組みは個人の生活に深く関係する極めて重要かつ緊急な事項である。持続可能な開発目標 (SDGs) とは、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真である。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指している。SDGsの目標は相互に関連しているため、誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要である。 授業では、視聴覚教材、パソコン等を活用し、現実の地球上で生じている様々な問題について学習する。授業では、毎時間の最初に、事前に提示するキーワードについて、事前知識の確認を行いながら、リアルタイムで情報検索を行い問題理解を深化させて行く。					
【授業の到達目標 (学習成果)】 年々深刻化している地球環境問題の解決をめざし、17項目のSDGs目標を理解し、地球の未来に向けて何が出来るのかをマインドマップを作成しながら個々の価値観の変更・醸成を目的とする。 知識・理解：地球規模の環境問題について、重要用語の内容をしっかりと理解する 技能・表現：環境問題に関するリアルタイムの情報を、キーワードの図式化で関連性を明示する 関心・意欲・態度：地球環境の未来に向けて、主体的に自己の日常生活での価値観を意識変革する					
授業計画			準備学習等		
1週	ガイダンス、マインドマップとは		環境問題重要用語とマインドマップ(1時間)		
2週	SDGsプログラムとは		SDGsについて知る (1.5時間)		
3週	1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに		項目 1,2 の内容をマインドマップ化する (2時間)		
4週	3. すべての人に健康と福祉を		項目 3 の内容をマインドマップ化する (1時間)		
5週	4. 質の高い教育をみんなに		項目 4 の内容をマインドマップ化する (1時間)		
6週	5. ジェンダー平等を実現しよう		項目 5 の内容をマインドマップ化する (1時間)		
7週	6. 安全な水とトイレを世界中に		項目 6 の内容をマインドマップ化する (1時間)		
8週	7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに		項目 7 の内容をマインドマップ化する (1時間)		
9週	8. 働きがいも経済成長も		項目 8 の内容をマインドマップ化する (1時間)		
10週	9. 産業と技術革新の基盤をつくろう		項目 9 の内容をマインドマップ化する (1時間)		
11週	10. 人や国の不平等をなくそう 11. 住み続けられるまちづくりを		項目 10,11 の内容をマインドマップ化する (2時間)		
12週	12. つくる責任、つかう責任 13. 気候変動に具体的な対策を		項目 12,13 の内容をマインドマップ化する (2時間)		
13週	14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさを守ろう		項目 14,15 の内容をマインドマップ化する (2時間)		
14週	16. 平和と公正をすべての人に 17. パートナリシップで目標を達成しよう		項目 16,17 の内容をマインドマップ化する (2時間)		
15週	人類社会の分岐点の今後 10 年間を考える (プレゼン)		地球環境問題と個人の実践について (4時間)		
【成績評価の方法・基準】 授業毎提出のミニレポートでのまとめ・コメント(感性表現力)(60%)、最終レポート(40%) 知識・理解：地球規模の環境問題について、重要用語の内容をしっかりと理解しているか 技能・表現：環境問題に関するリアルタイムの情報を、キーワードの図式化などで関連性を明示できるか 関心・意欲・態度：地球環境の未来に向けて、主体的に自己の日常生活での価値観を変革しようとしているか					
【課題(試験・レポート等)のフィードバックの方法】 試験・レポート等返還日に各学科指定場所で返還します。 詳細は各学期、掲示でお知らせします。学生は必ず課題を受け取り、返還された課題を確認し、自らの学習を振り返り、次の学習につなげてください。					
【テキスト】鬼頭昭雄『図解地球温暖化の科学』宝島社 ISBN：978-4-299-02801-3					
【参考書等】平成29年度 環境白書(環境庁)PDF版をネットからダウンロードする 『未来を変える目標 SDGs アイデアブック』紀伊国屋書店 ISBN：4877385134 夫馬賢治『データでわかる 2030年地球のすがた』日経プレミアシリーズ ISBN：978-4532264307 SDGsの17の目標と169のターゲット一覧 https://gooddo.jp/magazine/sdgs_2030/3464/					
【学生へのメッセージ・履修上の留意点】 これからの地球の未来をさまざまな角度から考える授業であるので、意欲的に学び、環境問題関連のニュースをしっかりと捉え、地球の環境問題解決に貢献できる人間となってほしい。					

授業科目名	単位数	必修選択の別	開講時期	授業形態	担当者名
環境問題演習 (I132)	1	選択	1年 前期	演習	森本 健一
【キーワード】 Glocally(グロカリー)、持続可能な開発目標 (SDGs)、消費者教育、食品ロス、『賞味期限のウソ』					
【授業内容・授業の目的】 Think Globally, Act Locally(地球的視野を持ち、地域で行動する) 略してGlocally(グロカリー)がテーマである。2030年までのSDGs17の国際的達成目標について理解を深めるとともに、プラスチック問題、食品ロスなど日常生活における環境問題について考える。それと共に持続可能な世界を未来に継承していくため、授業後半ではテキスト『賞味期限のウソ』の各章毎、全45の項目について、各自ポイントの簡潔なまとめの報告(プレゼン・報告書提出)を行い、情報の共有化を行う。また自然エネルギー利用技術(ソーラークッカー、落ち葉での焼き芋)、廃油アロマキャンドルの制作を実習として行う。					
【授業の到達目標(学習成果)】 自然環境関連の用語に習熟し、それらが関わる情報に鋭敏に反応し、情報収集する力を高めてもらいたい。ライフスタイルを点検し、各自のSGDs実践について、プレゼン発表し、最終報告書として提出してもらおう。 知識・理解: 自然環境関連の用語に習熟し伝統的な暮らしから生み出された知恵工夫について理解を深める 思考・判断: 地球的視野を持ち、地域で行動するグロカリーの発想の常態化を目指す 関心・意欲・態度: 食育及び食品ロス人類社会の未来にどのようにかわるかを考え、実践する					
授業計画			準備学習等		
1週	授業ガイダンス(オリエンテーション)		「グロカリー」「世界の人口時計」(1時間)		
2週	持続可能な開発目標(SDGs)①		17項目の目標を知る(2時間)		
3週	持続可能な開発目標(SDGs)②		身近でできる実践を考える(1.5時間)		
4週	ソーラークッカーをしてみよう(実習)		自然エネルギー利用①、災害時対応技術(1時間)		
5週	大学祭と環境・コロナ問題(学内巡検)		イベントと環境・コロナ問題を考える(1時間)		
6週	自然エネルギー利用②落ち葉活用技術(実習)		焼き芋、堆肥ほかバイオマス資源有効活用法(1時間)		
7週	プラスチック問題①		レジ袋・ストロー問題、脱プラスチック(1時間)		
8週	プラスチック問題②		海洋マイクロプラスチック問題と信州(1.5時間)		
9週	廃油アロマキャンドル制作(実習)①		廃油活用、暮らしと明かり、ろうそくの文化(1時間)		
10週	廃油アロマキャンドル制作(実習)②		人類と灯りの歴史(蛍雪の功)、「陰翳礼讃」(1時間)		
11週	『賞味期限のウソ』精読報告		第1章賞味期限、第2章食品の見分け方(2時間)		
12週	『賞味期限のウソ』精読報告		第3章捨てるコストの負担(2時間)		
13週	『賞味期限のウソ』精読報告		第4章買い物は投票(2時間)		
14週	『賞味期限のウソ』精読報告		第5章フードバンク活動(1.5時間)		
15週	実践活動報告(プレゼンテーション発表)		パワーポイントでの各自の実践報告発表(1.5時間)		
【成績評価の方法・基準】 最終報告書(20%)、プレゼンテーション(20%)、毎授業時提出でのまとめ・コメント(60%)。 知識・理解: 自然環境関連の用語に習熟し伝統的な暮らしから生み出された知恵工夫について理解を深めたか 思考・判断: 地球的視野を持ち、地域で行動するグロカリーの発想(環境意識)が常態化してきたか 関心・意欲・態度: 急速に進む地球環境の悪化と人類社会の未来にどのようにかわるかを考え、実践したか					
【課題(試験・レポート等)のフィードバックの方法】 試験・レポート等返還日に各学科指定場所で返還します。 詳細は各学期、掲示でお知らせします。学生は必ず課題を受け取り、返還された課題を確認し、自らの学習を振り返り、次の学習につなげてください。					
【テキスト】井出留美 『賞味期限のウソ』 幻冬舎新書 (ISBN-10:4344984331)					
【参考書等】谷崎潤一郎『陰翳礼讃』:SDGsの17の目標と169のターゲット一覧 https://gooddo.jp/magazine/sdgs_2030/3464/					
【学生へのメッセージ・履修上の留意点】これからの地球の未来をさまざまな角度の環境問題視点から考える授業であるので、意欲的に学び、環境問題関連のニュースをしっかりと捉え、地球の環境問題解決に貢献できるSDGs人間となってもらいたい。					

授業科目名	単位数	必修選択の別	開講時期	授業形態	担当者名
自然体験活動 (I120)	1	選択	1年 前期 (夏期集中授業)	演習	森本 健一
【キーワード】 シェアリングネイチャー（自然を楽しむ、遊ぶ、学ぶ）、センス・オブ・ワンダー（五感、感受性の醸成）					
【授業内容・授業の目的】 さまざまな自然環境での体験や遊びは子どもたちの観察力や創造力を高め、豊かな心情や自ら考え、やりとげる力を育てる。ネイチャーゲームの基本理念と指導方法を学び、野外実習を通じ五感で自然を捉えることの意義を理解し、子どもたちが身のまわりの多様な自然を認識していくみちすじを、実践を通じて理解していく。 日本シェアリングネイチャーゲーム協会の協力のもとに、講義8時間、実習7時間（14プログラム）を3日間の集中授業で交互に行い、検定結果により資格認定を行うが、単位取得には他に、補講を後日、2コマの受講が必要である。					
【授業の到達目標（学習成果）】 ネイチャーゲームの基本理念と指導方法を学び、野外実習を通じ五感で自然を捉えることの意義を理解し、子供たちの豊かな感性（センスオブワンダー）を育成・発展させる自然案内人としての指導力を身につけることを目指す。 知識・理解：野外実習を通じ五感で自然を捉えることの意義を理解する 関心・意欲：子どもたちが身のまわりの多様な自然に関心を持ち、それを認識していく重要性をしっかり注視する 技能・表現：子供たちの豊かな感性を育成・発展させる自然案内人としての指導力を身につけることを目指す					
授業計画（気象状況により変更する）			準備学習等		
1週	ネイチャーゲームの概要		ネイチャーゲーム概要を理解しておく（1時間）		
2週	ネイチャーゲームリーダーとは		授業計画に沿って内容の展開を理解する（0.5時間）		
3週	ネイチャーゲームの実践法		ハンドブックを熟読し、展開を把握する（0.5時間）		
4週	実習：1. はじめまして 2. 私は誰でしょう 3. ノーズ		実習内容をアクティビティ報告書にまとめる（1時間）		
5週	実習：4. 動物当てゲーム 5. カモフラージュ 6. フィールドビンゴ		実習内容をアクティビティ報告書にまとめる（1時間）		
6週	安全対策・自然への配慮		ハンドブックを読み、授業内容を理解する（0.5時間）		
7週	ネイチャーゲーム指導員制度		ハンドブックを読み、授業内容を理解する（0.5時間）		
8週	実習：1. コウモリとガ		実習内容をアクティビティ報告書にまとめる（1時間）		
9週	実習：2. 音いくつ 3. 木の鼓動 4. サウンドマップ		実習内容をアクティビティ報告書にまとめる（1時間）		
10週	実習：1. 自然大好き、大事探し 2. カメラゲーム		実習内容をアクティビティ報告書にまとめる（1時間）		
11週	実習：3. 目隠し歩き		実習内容をアクティビティ報告書にまとめる（1時間）		
12週	実習：4. フォールドポエム		実習内容をアクティビティ報告書にまとめる（1時間）		
13週	自然体験活動の理念		ハンドブックを読み、授業内容を理解する（0.5時間）		
14週	補講：子どもと自然、環境教育の理念		R・カーソン『センス・オブ・ワンダー』他を読む（2時間）		
15週	補講：全体のふりかえりとまとめ		自然案内人の役割、感性教育を理解する（1時間）		
【成績評価の方法・基準】 1. 講義8時間、実習7時間（14プログラム）12時間、検定（筆記試験）によりネイチャーゲームリーダーの資格を認定する。2. 単位認定評価は資格認定講習および補講を受講し、アクティビティ報告書（集中授業3日分）（30%）、単位認定まとめレポート（50%）、実践活動報告書・補講レポート（20%）によって定める。 知識・理解：野外実習を通じ五感で自然を捉えることの意義を理解し、技能を習得したか 関心・意欲：子どもたちが身のまわりの多様な自然を認識していくみちすじを理解できたか 技能・表現：子供たちの豊かな感性を育成・発展させる自然案内人としての指導力を磨くことができたか					
【課題（試験・レポート等）のフィードバックの方法】 試験・レポート等返還日に各学科指定場所で返還します。 詳細は各学期、掲示でお知らせします。学生は必ず課題を受け取り、返還された課題を確認し、自らの学習を振り返り、次の学習につなげてください。					
【テキスト】 日本シェアリングネイチャーゲーム協会 『ネイチャーゲーム1』、『簡易版ハンドブック』					
【参考書等】 日置光久 『子どもと自然とネイチャーゲーム』 日本ネイチャーゲーム協会 ISBN 9784906937011 R・カーソン 『センス・オブ・ワンダー』 新潮社 (ISBN:4105197029)；『サイレント・スプリング (沈黙の春)』 新潮社 (ISBN:4102074015)					
【学生へのメッセージ・履修上の留意点】 ネイチャーゲームリーダーの資格は認定後、登録が必要（資格継続は会員登録後、会費が必要）。単位の認定は、補講参加および履修レポート提出が必要である。評価は授業外でのリーダーとしての実践活動を行わない場合、低評価となる。実践を大に行い、経験を重ねて実力をつけてほしい。					

授業科目名	単位数	必修選択の別	開講時期	授業形態	担当者名
伝統文化演習 (I109)	1	選択	1・2年 前期	演習	森本 健一
【キーワード】 和の文化体験、伝統楽器体験、伝統工芸学習、伝統芸能学習、アクティブ・ラーニング					
【授業内容・授業の目的】 伝統文化とは、第一義的には我が国の長い歴史の中で、人々に受け継がれてきた和服、華道や茶道、能などに代表される文化のことではあるが、一方、「伝統・文化」は、そうした伝統文化はもとより、未来に受け継いでいきたい現代の文化も含んでいる。日本文化の様々なジャンルの伝統・文化の深層を、映像記録やネット情報サイトから学び、時には伝統技術を継承する匠たちから、その高い精神性に触れ日本文化を理解してもらう。					
【授業の到達目標（学習成果）】 地域の伝統芸能を含め様々なジャンルの伝統・文化の深層を学び、今日的な視点から我が国の伝統や文化を継承するだけではなく、国際理解教育の観点から、世界の中で日本人として日本のすばらしさを誇れるよう、体感実践的な授業を行い、基礎的知識と技能を習得し、日本人の文化・生き方の精粋を再発見する。 知識・理解：地域の伝統芸能・工芸を含め様々なジャンルの伝統・文化の深層を学ぶ、 思考・判断・技能：日本のすばらしさを誇れる体感実践的な授業を行い技能の深さを体感する 関心・意欲・態度：伝統文化の今後の継続性を意識し、日常での活用・展開を目指す					
授業計画（講師の都合で変更もあります）			準備学習等		
1週	ガイダンス、マインドマップ（放射思考）とは	このシラバスをしっかりと読んでくること（0.5時間）			
2週	和楽器の世界①津軽三味線体験（実習）	和楽器：オノマトペ、雅楽：ゆらぎを知る（1時間）			
3週	和楽器の世界②（尺八、和太鼓）	音は自然表現、多様な音表現（1時間）			
4週	日本の伝統工芸の継承①龍溪石（硯）・お六櫛	長野県の伝統工芸を理解する（1時間）			
5週	日本の伝統工芸の継承②漆器の世界	漆器の歴史・生産・国際性、蒔絵・沈金（1時間）			
6週	水田・稲作文化を知る（田植え体験実習）	和食、世界の主要穀物、田んぼダム（1時間）			
7週	和紙・和傘を知る・和室の表具類	和傘・扇・襖・障子について（1時間）			
8週	華道体験（実習）	華道の歴史について調べておくこと（1時間）			
9週	茶道体験（実習）	新型コロナ感染拡大状況による			
10週	日本の伝統色について	和装・着物の歴史（1時間）			
11週	多様な植物染色（草木染実習）	染色技法について調べておくこと（1時間）			
12週	シルク産業の歴史①	諏訪・伊那地域主要産業の歴史（1時間）			
13週	シルク産業の歴史②	日本近代化と製糸業（2時間）			
14週	無形文化遺産・和食	器、季節感、多彩な料理法（懐石・行事）（1時間）			
15週	SDG s と食文化	飢餓と食品ロスと暮らしとのかかわりを考える			
【成績評価の方法・基準】 毎回の授業における授業報告書（30%）および小レポート（30%）最終レポート（40%） 知識・理解：地域の伝統芸能・工芸を含め様々なジャンルの伝統・文化の深層を理解したか。 思考・判断・技能：オンライン動画や映像資料での体感的授業を行ったことで、技能の深さを理解したか。 関心・意欲・態度：伝統文化の今後の継続性を意識し、日常での活用・展開を目指そうとしたか。					
【課題（試験・レポート等）のフィードバックの方法】 試験・レポート等返還日に各学科指定場所で返還します。詳細は各学期、掲示でお知らせします。学生は必ず課題を受け取り、返還された課題を確認し、自らの学習を振り返り、次の学習につなげてください。					
【テキスト】 特になし。資料を配布する。					
【参考書等】 長谷川 權『和の思想 異質なものを共存させる力』中公新書 2010 ISBN：9784121020109 福原義春『美 見えないものをみるといふこと』PHP新書 905 ISBN：9784569816708 小松成美『和を継ぐものたち』小学館文庫 619 ISBN：9784094085570					
【学生へのメッセージ・履修上の留意点】 授業内容によって、材料代等教材費が500円程度必要な場合もあります。新型コロナウイルス感染状況によっては、外部講師の体験実習授業は、内容変更になります。（6月の休日には田植えを地域連携授業で行う予定です。）履修者が多数の場合は、実習でのリスクを避けるため2年生を優先した人数調整を行います。					